

提出順	10	発言順	9	令和5年5月31日
				午前・午後 2時36分受領

(5枚中No. / )

令和5年5月31日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	○子どもの貧困対策について		

### 質問の要旨 (具体的に記載してください)

市は、「子どもの貧困対策」の計画を策定し、事業を推進しているか、以下の点について伺う。

- ① 県の実態調査から、市はどのような結果や数字を得て、それをどのように分析されて、こどもの貧困対策計画に活かし、どのような施策を立てられたのか。
- ② ヤングケアラー実態について、令和3年の議会では1名把握しているという教育部長の答弁があり、今年の3月議会では12名の存在を把握しているという説明があった。12名の存在は県の調査に基づく把握なのか、それとも学校関係者の情報によるものなのか。子どもたちはそれぞれどのような状況におかれているのか。
- ③ 本年度予算で、ヤングケアラーの支援について「子育て世帯訪問支援臨時特例事業費」として5世帯分48万円が計上された。この予算には、ヤングケアラーとして市が把握する12名の子どもたちに十分な支援が盛り込まれているのか。2か月程度で週2回ペースの訪問で十分な支援になると考えているのか。
- ④ 市が対象世帯の状況を確認して決めた支援内容に基づき、市が委託業者と契約して訪問支援員の派遣を依頼する事業とするとしているが、ヤングケアラーとなっている子どもたちの要望や家庭の状況に対応しているのか。また、子どもたちの精神面の対応をフォローし、子どもたち自身の学びや学習などへの支援はどうなるのか。
- ⑤ 事業者と訪問支援員、教育部子ども家庭支援課、学校関係者との連携はどうなるのか。当事者である子どもたちの意見はどのように取り上げられ、この事業に活かされていくのか。訪問支援員には「介護ヘルパー」に加え、子どもたちが安心して接し援助を受け入れられるような資質も必要と考えるがどうか。そのために訪問支援員への専門的な研修援助などは検討されているのか。

提出順	10	発言順	9	令和 5 年 5 月 21 日
				午前・午後 2 時 36 分受領

( 5 枚中No.2 )

令和 5 年 5 月 31 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
質問事項	○子どもの貧困対策について		

- ⑥ 就学援助の令和 5 年度の支給状況はどうか。小学校入学や中学進学に当たって、就学前・進学前に支給できなかった事例はあったか。あったとすれば来年度はどのように改善するのか。
- ⑦ 福祉部福祉課の生活支援担当の新規事業である「生活保護世帯学習支援事業」の実情はどのようになっているか。また、「子育て世帯訪問支援臨時特例事業費」との関連はどのようになっているか。今後の取り組みをどのようにしていくのか。
- ⑧ 市独自の「こどもの貧困対策計画」と施策実行のために、「こどもの実態調査」の実施や子どもたちの意見を聞く場の設定、それらを保障する「市子どもの権利条例（仮称）」を検討すべきではないか。

提出順	10	発言順	9	令和 5年 5月 31日
				午前・午後 2時 36分受領

(5 枚中No. 3)

令和 5年 5月 31日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	○通学路などのトイレについて		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

- ① これまでサイクリングコースや地域の健康増進のためのジョギングコースなどにトイレの設置や利用できるトイレの紹介などを求めてきた。また、冬期間のトイレ利用を可能にしてほしいという要望もしてきた。各担当部に現状と改善などの取り組みについて伺う。
- ② 今回はそれらに加え「通学路」についても伺う。通学路にも同様にトイレを設置したり少なくとも利用できるトイレの紹介 (存在) を子どもたちや保護者に説明していくべきではないか。そのためにも、通学路近辺で「こどもを守る安心の家」を掲げるお宅に対し、教育委員会と学校はこれまでの協力に感謝するとともに、合わせてトイレの使用や水の供給 (熱中症対策のためにも) などをお願いし、子どもたちが安心して通学 (登下校) できるようにすべきではないか。

提出順	10	発言順	9	令和 5 年 5 月 31 日
				午前・ <del>午後</del> 2 時 36 分受領

(5 枚中 No. 4)

令和 5 年 5 月 31 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
質問事項	○ 4 月の凍霜害について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

4 月の凍霜害は小倉地区などの果樹農家に甚大な被害をもたらした。果樹農家への支援について伺う。

- ① 被害状況をどのように把握し、現状をどうみているか。
- ② 凍霜害の支援について、先例では肥料や消毒資材の補助、果樹共済や収入保険の掛け金の援助があったが、今回の凍霜害にも早急な支援をすべきではないか。新しい要望として防霜ファンの設置や電気代補助の要望もあったがどうか。
- ③ 収入保険など、農家の実態に合った保険となるよう関係機関と協議し、国や県に全国市長会などを通じて要望していくべきではないか。

提出順	10	発言順	9	令和 5年 5月 31日
				午前・午後 2 時 36分受領

(5 枚中No.5)

令和 5年 5月 31日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 井出 勝正

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input checked="" type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	○飲み水の水質について		

### 質問の要旨 (具体的に記載してください)

最近飲み水の PFAS (ピーファス:有機フッ素化合物) が問題となっているが、安曇野市の地下水や水道水の安全性はどうか。

- ① 安曇野市の飲料水の水質はどうなっているか。
- ② 地下水の水質検査の項目に PFAS (ピーファス) もくわえるべきではないか。
- ③ 飲み水の安全性や PFAS (ピーファス) について市民への啓発を行うとともに、市町村での共通認識を広め、国や県に対し水質基準を急ぐよう求めていくべきではないか。